

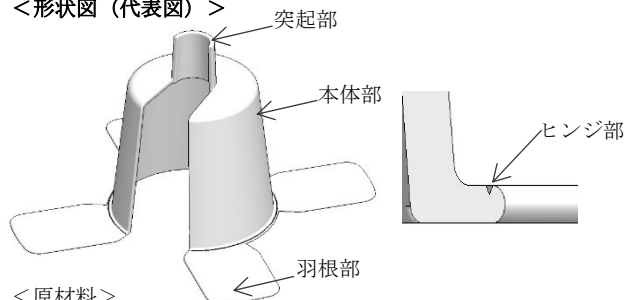
機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 カテーテル固定用パッチ（JMDN コード：70328000）
ドレーンサポート

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・本品を滅菌しないこと〔熱による変形や滅菌剤による劣化の可能性がある〕。
- ・使用目的以外の用途で使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

＜形状図（代表図）＞



＜原材料＞

本体：低密度ポリエチレン
包材：ポリエチレン

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・意識障害等により本品を患者自身が外すおそれがある場合は使用しないこと。
- ・製品に破損等の異常が認められる場合や包装が破損、汚損している場合は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

- ・高温多湿及び直射日光を避けて、乾燥した涼しい場所で保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ハヤブサ
住 所：静岡県富士宮市淀師 1100-7
電 話 番 号：0544-27-4848
製 造 業 者：株式会社ハヤブサ 本社工場
販 売 元：株式会社ハヤブサ

【使用目的又は効果】

本品は、胸腹腔穿刺の際にドレーンチューブや穿刺針を簡便かつ安定して固定するための機器である。

【使用方法等】

（使用前準備）

- ・穿刺時の物品は胸腹腔穿刺の手技に使用するものを準備する。
- ・三方活栓を使用する場合には延長チューブ付きのものを選択する。

（固定方法）

1. 穿刺から排液ルートの接続までは通常の穿刺助に准ずる。
2. 本品のスリットが 12 時方向になるようにして、看護師または医師がルートの下方から差し込む。
3. 医師または看護師が本品を把持した状態で上部の羽根から順に優肌絆で固定する。
4. 下部 2 枚の羽根を固定する。
5. 羽根部の固定を終えたら、突起部とルートを優肌絆で固定する。優肌絆を突起部からルート方向に向かってらせん状に 2～3 巻きして、ルートが確実に固定されていることを確認する。

（取り外し）

6. 排液終了後、抜針する際には本品と体表の優肌絆のみ剥離する。（剥離する羽根の順序は問わない。）

（拔去）

7. 本品を把持し穿刺針を体表に垂直に引き抜き、拔去部をガーゼにて圧迫保護する。以後の拔去部保護処置については業務手順に准ずる。
※看護師が拔去する際には、あらかじめ医師に看護師サイドで拔去可能かを確認しておくこと。